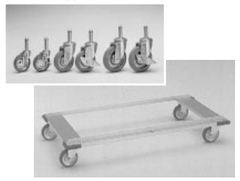
SUPER ERECTA SHELF

多彩なパーツで組み方自在、さらに機能的に!

「動かす」

●トップハンドル　●サイドハンドル
カートやワゴンに、また棚サイドの物掛けに。

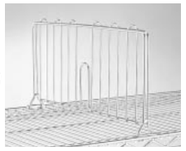
●キャスター　●ドーリー
小回りの利くカートや、棚のレイアウト変更に。



「仕切る」

●ロッド＆タブ
各段の棚を、縦割りで一気に間仕切ります。

●ディバイダー
ブックエンドタイプの間仕切りです。

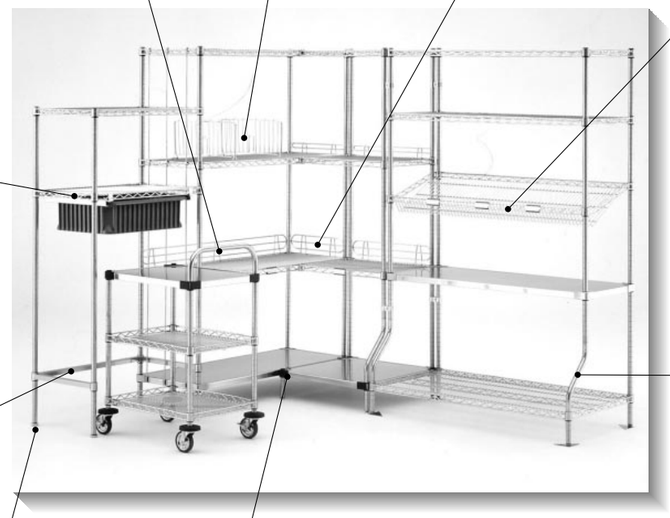


「防ぐ」

●サイドレッジ　●バックレッジ
高さは50mmと100mmの2タイプ。

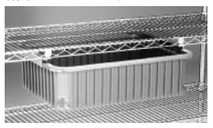
「示す」

●ビンマーカー
棚にはめ込むサインプレートです。



「しまう」

●トートボックス＆レール
棚下のスライド式ボックスです。



「拡げる」

●3方枠
補強用に使用します。

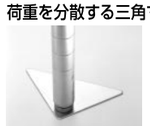
「変える」

●YKポール
下段の奥行を150mm広くします。

「護る」

●ファッション・アジャストボルト
微妙な高さ調整が可能です。

●メタルマット
荷重を分散する三角マットです。



●三角フットプレート
床にボルトで固定できます。

「つなぐ」

●S型金具
スーパータイプの棚を直角、横に連結。

●コーナー金具
ソリッドエレクターを直角、横に連結。

●ポストクランプ
ポールを連結し、ズレを防止します。

エレクター株式会社
本社：〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-15-1 渋谷クロスタワー8F
TEL.03-5766-8166(代) FAX.03-5766-8191
支店・営業所：大阪・名古屋・福岡・仙台・札幌・広島
●商品についてのお問い合わせは カスタマーサービス
0120-70-7532（受付時間／9:00～17:30 土・日・祝日を除く）
エレクターホームページ http://www.erecta.co.jp

ERECTA 取扱説明書

スーパーエレクターシリーズ

スーパーエレクター／ステンレスエレクター
カラーエレクター／サイドアップエレクター

この度は、エレクター製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。本製品を安全にお使いいただくために、この説明書を良くお読みいただき、内容をご理解のうえ注意事項を遵守していただくようお願いいたします。

スーパーエレクター

スーパーエレクターカート

ご使用前に必ずお読みください

■ **組み立て前に部品の不足・欠損がないか、必ずご確認ください。**
※ 商品には万全を期しておりますが、万一部品が不足・欠損していた場合は、組み立てを行わずお買い求めの販売店または弊社カスタマーサービスへご連絡ください。

■ **組み立ては、この説明書をよくお読みになり、手順に従って正しく組み立ててください。**
※ 誤った組み立ては破損やケガの原因となります。

■ **この説明書は棚の組み替え、解体時に必要となりますので、組み立て後もお手元に保管してください。**

■ **お取扱い上の不注意や商品の改造により生じた機能低下や事故については責任を負いかねます。**

■ **他社製品を併用した組み付けはおやめください。**

■ **下記の「警告・注意」をよくお読みいただき厳守していただくようお願いいたします。**

警告・注意

警　告

●耐荷重を超えて物を載せないでください。
下記の耐荷重を超えた負荷を与えると、棚が破損して重大な事故となる可能性があります。多段でご使用の場合は各段に平均に荷重を分散してください。

- **床上に設置する場合**
  本製品の耐荷重は棚板一段あたり、 間口1220以下：250kg（等分布）です。
  間口1520以上：150kg（等分布）です。
  ただし多段組みにした場合の総耐荷重は、1000kg（本体の自重を含む）です。
- **専用単独キャスターを装着する場合**
  棚にかかる負荷、路面の状況、使用環境等を考慮のうえキャスターを選定してください。
  多段組みにした場合の総耐荷重は、200kgです。
- **専用ドーリーを装着する場合**
  重量物の運搬や、移動が頻繁な場合は専用のドーリーをご使用ください。
  多段組みにした場合の総耐荷重は、300kgです。

●本製品を踏み台にしたり、ぶら下がったり上に登るような行為は絶対に行わないでください。
転倒や積載物の落下により重大な事故となる恐れがあります。

●商品の改造は機能低下・事故・破損の原因となりますので、絶対におやめください。

注　意

●組み立ては平坦で十分なスペースのある場所で行ってください。床や壁面の保護のために当て布などを敷いて作業してください。
●傾斜した所や、段差があるなど不安定な場所には設置しないでください。転倒や積載物の落下により思わぬ事故の原因となります。
●棚板の取付位置を変更する際には、積載物をすべて降ろしてから行ってください。
積載物の破損やケガなどの原因となります。
●単独キャスターまたはドーリーを取り付ける場合には、ポールの破損を防ぐため必ずポールの最下段に棚板または四方枠を取り付けてください。
●設置場所の移動の際には、積載物をすべて降ろしポールを持って移動してください。

ご使用上の注意

●棚板のメッシュより小さいものは、落下して破損する原因となりますので載せないようにしてください。
●酸／アルカリ性の強い、悪影響下での使用は避けてください。
●清掃の際には中性洗剤をご使用し、水分が残らないよう乾いた布で拭き取ってください。
●本製品は磁気を帯びる場合があります。
テレビ、パソコンモニタ等の電化製品の中には、磁気の影響を受ける場合があります。
万一異常が生じた場合は、対象機器のメーカーや販売店などにお問い合わせください。
●ステンレス製品の場合でも、使用環境によっては錆が発生する場合があります。錆の発生を防ぐために、下記内容にご注意ください。
- まめに清掃を行い、表面の付着物を除去してください。
- 殺菌剤や溶剤の使用後は、必ず水洗いをしてください。

組み立て

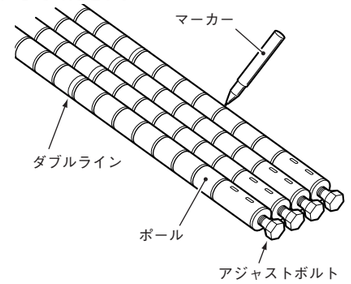
●ドーリー/打ち込み式キャスターを取り付ける場合、最初に右ページを参照のうえ棚を組み立てる前にポールにドーリー/キャスターをセットしてください。

※棚板は下段から順に一段ずつ組み立てます。

1 棚板の取り付け位置を決める

作業は平坦で十分なスペースのある場所で行ってください。
棚に載せる物の大きさに応じて棚板の取り付け位置を決めます。
ポールの１インチ（25.4m/m）ピッチの溝、あるいは約20cm毎に印されたダブルラインを目安にして、マーカーなどで印をつけると便利です。

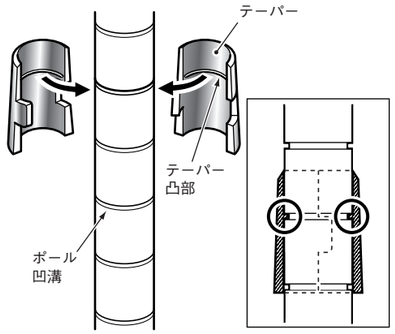
ポールはアジャストボルトが付いている側を下にしてください。



2 テーパーの取り付け

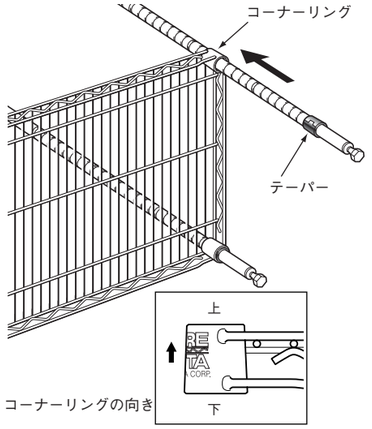
テーパーは裾の広い方を下向きにして、最下段の棚板の取り付け位置に、テーパーの内側の凸部とポールの凹溝が合うように、１個ずつ「カチッ」と取り付けます。

※棚板を１段組み終えるごとにセットしてください。取り付け後、上下に動かないことを確認してください。



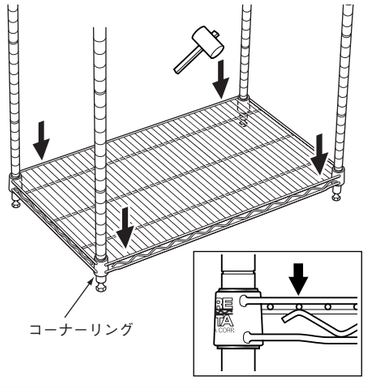
3 組み立ては下段から

棚を横にして、四隅のコーナーリングの径の広い方からポールを通し、テーパーが隠れるところまで差し込みます。



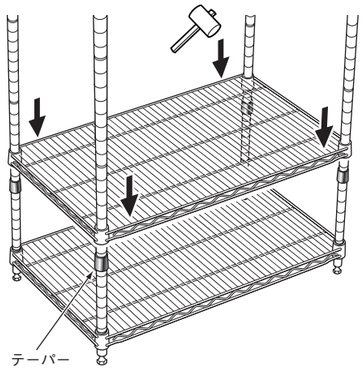
4 棚板の固定

棚板を起こし、木槌やプラスチックハンマーで四隅のコーナーリング周辺を交互にたたいて固定します。この時、テーパーがずれずにコーナーリングと正しくかみ合っていて、水平に棚板が組まれているか確認してください。



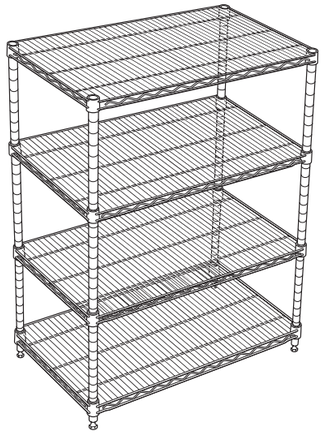
5 2段目以上の棚板を組み立てる

2 と同様に、ポールにテーパーを取り付け、棚板を上から通して取り付け位置まで差し込みます。すべての棚板を同じ要領で取り付けてください。



6 組み立ての確認

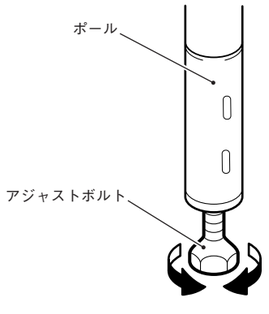
組み上がりましたら、歪みやガタツキがないか、もう一度確認します。



7 レベル調整のしかた

ポール下部先端のアジャストボルトを回して、ガタツキがないよう調整してください。

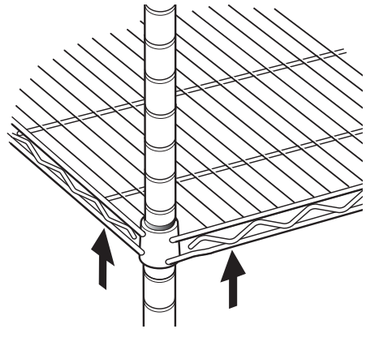
ご注意 棚が水平になるよう確実に調整を行ってからご使用ください。



棚板の組み替え・解体

棚板の取り外しは木槌やプラスチックハンマーで、四隅のコーナーリング周辺を下から交互にたたいて外します。

ご注意 解体の際は、積載物をすべておろし、棚板の落下やポールの転倒に十分注意して作業をしてください。

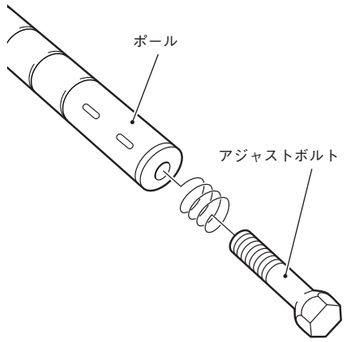


ドーリーの取り付け

●必ずポールの最下段に棚板または四方枠を取り付けてください。

1 アジャストボルトの抜き取り

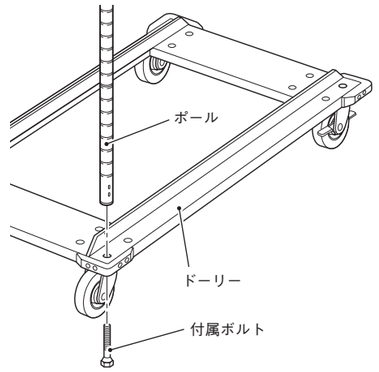
ポール下部についているアジャストボルトを抜き取ります。



2 ドーリーとポールの取り付け

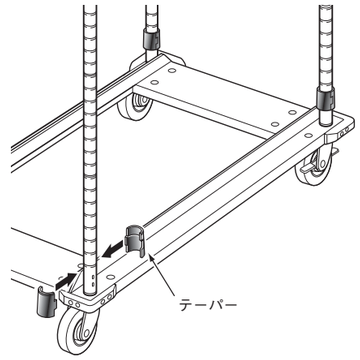
ドーリーの四隅の孔にポールを合わせて、ドーリーの下からアジャストボルトをねじ込み仮止めします。

棚を組み立てた後、ボルトを本締めしてください。



3 テーパーの取り付け

4本の**ポールの一番下の凹溝**にテーパー内側の凸部を合わせて取り付けます。



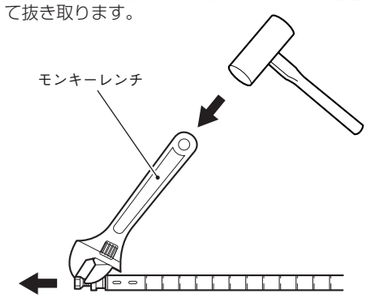
キャスターの取り付け

●必ずポールの最下段に棚板または四方枠を取り付けてください。

●打ち込み式単独キャスターの場合

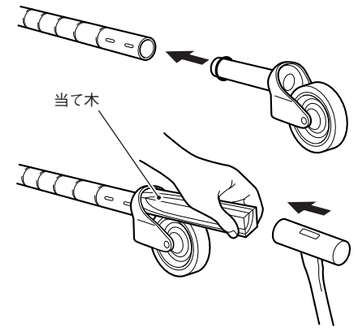
1 打ち込みナットの抜き取り

ポール下部のアジャストボルトを、モンキーレンチ等をボルト部分にあて、ハンマーでたたいて抜き取ります。



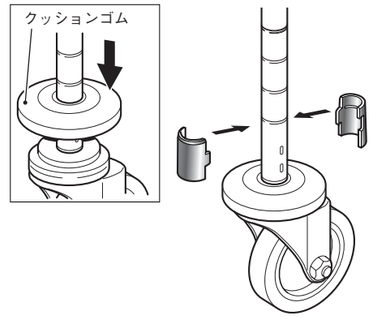
2 キャスターの組み付け

ポールにキャスターを差し込み、金具の部分に当て木などを当て、ハンマーで付け根まで打ち込みます。



3 クッションゴムとテーパーの取り付け

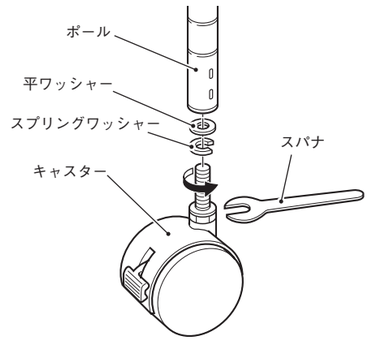
クッションゴムを差し込んだ後、**必ずポールの最下段の凹溝**にテーパー内側の凸部を合わせて取り付けます。



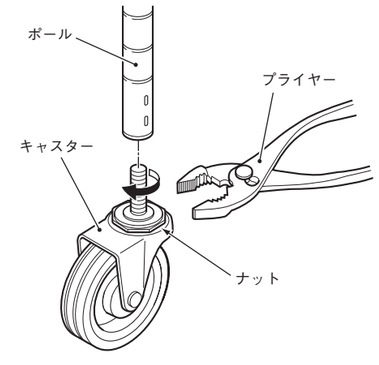
●ねじ込み式単独キャスターの場合

1 キャスターの組み付け

●DR50/DRS50の場合
ドーリーの取り付け 1 を参照してポール下部のアジャストボルトを取り除きます。次にスプリングワッシャー、平ワッシャー、キャスターのネジ部分の順に差し込み、付属のスパナで動かなくなるまで締め込みます。



●R75/S75の場合
ドーリーの取り付け 1 を参照してポール下部のアジャストボルトを取り除きます。キャスターのネジ部分を差し込み、プライヤーで動かなくなるまで締め込みます。



2 テーパーの取り付け

ポールの一番下の凹溝にテーパー内側の凸部を合わせて取り付けます。